学校番号	1301

令和８年度　地歴公民科

教科	公民	科目	公民 A	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代につながる先人たちの思想を学ぶ。
・青年期のありさまを多角的にとらえる。
・現代の課題を倫理的な観点からとらえる。

2　学習の到達目標

人間尊重の精神と生命への畏敬にもとづき、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深め、人格の形成に努める実践的意欲を高める。他者とともに生きる主体としての自己確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てるため、次の資質・能力の育成を目指す。
【知識及び技能】
・自らが学習した内容を様々な方法を用いて発信・共有することができる。
【思考力、判断力、表現力等】
・設定されたテーマに関して、多角的な視点から探求することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・学習した内容をもとに、適切な方法で合意形成を図ることができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	先人の思想や現代社会の特質についての基礎・基本的な知識を理解し、自らの人生観・世界観を形づくるための知識として身につけている。資料をメディアや文献等を通して収集し、必要な情報を取捨選択し、まとめることができている。また、発表の場面では、他者の意見も尊重しつつ、自分の言葉で発表できている。	先人の思想や現代社会の特質についての選択・判断の手掛かりとなる考え方を用いながら、他者からの意見などを自分なりに結びつけ、そこから何が得られるのか想像し、自分の納得のいく解答が導き出せている。	先人の思想や生き方、自分自身がどのようにあるかについて関心を高め、自分らしい自分になるために行動する意欲を持つと共に、これらにかかわる諸課題について、自分や他者、社会との関わりから学び考える態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
ステージ1	現代に生きる自己の課題法や規範の意義と役割	①人生の中の青年期 ②自分をみつめる ③社会を生きる	a:自分らしい自分になるためには、どう生きるのか。どのような価値観を持てばいいのかについて、常に考えていくことが必要であることを理解している。 b:自己の体験や悩みを振り返って、青年期の特徴と照らし合わせることで、自己の課題をさまざまな視点から考えている。また、他者とともに生きる自己の生き方を適切に表現することができる。 c:人生における青年期の特徴を学ぶことで、自己の体験や悩みを客観的に位置づけようとしている。また、他者とともに生きる自己の生き方について考え、行動する態度を身につけている。	教科書・プリントによる学習への取り組み	・調べ学習によるレポート課題 ・GW後のレポート課題 ・ワークショップ後のレポート課題	・授業に対する取り組み態度 ・GWの取り組み ・ワークショップに対する取り組み
		①古代ギリシアの思想 1　万物の始源の探究 2　ソクラテス 3　プラトン 4　アリストテレス 5　ヘレニズムの思想	a:ギリシア思想における「善く生きる」ための先哲の思索を、自己の生き方に関わるものとして理解している。 b: ギリシア哲学の「善く生きる」探究を自己の課題と照らし合わせて、望ましい生き方について考え、適切に表現している。 c:ギリシア哲学の「善く生きる」ことの探究を、自己の生き方の課題と結びつけて学ぼうとしている。	教科書・プリントによる学習への取り組み	・視聴覚教材に関するレポート課題	・授業に対する取り組み ・ワークショップに対する取り組み
		②唯一神の宗教 1　イスラエル民族と一神教 2　イエスの思想とキリスト教 3　キリスト教の発展 4　イスラームのはじまり	a:キリスト教やイスラームの教えを人が生きていく上での課題と結びつけて理解している。 b:キリスト教やイスラームの教えを自己の生き方の課題と照らし合わせて、望ましい生き方について考えることができる。 c:一神教の特徴と信者の生き方を生き方の課題と結びつけて学ぼうとしている。	教科書・プリントによる学習への取り組み	・GW後のレポート課題	・授業に対する取り組み ・GWに対する取り組み

		③古代インド思想と仏教 1 古代インド思想の形成 2 仏陀と仏教 3 仏陀以後と大乗の発展	a:仏教の教えを人が生きていく上での課題と結びつけて理解している。 b:仏教の教えを自己の生き方や課題に照らし合わせ、人間存在の価値に関わる課題について考え適切に表現している。 c:仏教の人生観などを自己の生き方や課題と結びつけて学ぼうとしている。	教科書・プリントによる学習への取り組み	・調べ学習によるレポート課題	・授業に対する取り組み ・ワークショップに対する取り組み
		④中国思想 1 中国思想の源流 2 儒教のはじまり 孔子の思想 3 儒教の再構築 孟子・荀子・法家思想 4 儒学の展開 朱子学・陽明学 5 老荘思想	a:中国の諸思想の基本的な考え方を理解し、人が生きていく上での課題と結びつけている。 b:中国思想における、たとえば共同体や人間相互のつながりについての考え方を、自己の生き方や課題に照らし合わせ、望ましい生き方を適切に判断できる。 c:中国の道徳論などを、自己の生き方と結びつけて学ぼうとしている。	教科書・プリントによる学習への取り組み	・GW後のレポート課題	・授業に対する取り組み ・GWに対する取り組み
ステージ2	日本の思想の歩み	①日本の自然と日本神話 1 日本の自然と風土 2 日本の神話と日本人の宗教観 3 神道の成立とその展開	a:日本の伝統的価値観や自然と生き方の結びつきを理解している。 b:日本の伝統的な倫理観や思考法について、自己の生き方に関連づけて判断できる。 c: 日本の自然や風土と日本人の考え方の関わりを、自己の生き方に結びつけて学ぼうとしている。	教科書・プリントによる学習への取り組み	・GW後のレポート課題	・授業に対する取り組み ・GWに対する取り組み
		②仏教の受容と展開 1 仏教の伝来と国家 2 平安時代の仏教 3 鎌倉時代の仏教	a:日本における仏教思想の基本的な考え方を理解できる。 b: 仏教の基本的な考え方について、自己の生き方に関連づけて判断できる。 c:日本に受容された仏教を、自己の生き方との関わりで学ぼうとしている。	教科書・プリントによる学習への取り組み	・GW後のレポート課題	・授業に対する取り組み ・GWに対する取り組み

		③近世の道徳 1 儒教の受容と武士の道徳 2 朱子学への批判と儒学の新展開 3 国学 4 武士の道徳から庶民の道徳へ	a:日本における儒教思想の基本的な考え方を理解できる。 b:儒教の基本的な考え方について、自己の生き方との関わりについて判断できる。 c:儒教が日本に受容されて自己の生き方にどのような影響を与えたかを学ぼうとしている。	教科書・プリントによる学習への取り組み	・GW後のレポート課題	・授業に対する取り組み ・GWに対する取り組み
		④幕末から近代国家への移行 1 西洋文化の受容と対応 2 啓蒙思想と民権思想	a:日本における西洋思想の受容について理解できる。 b:西洋思想の受容について自己の生き方との関わりで考え、判断できる。 c:西洋思想の受容によって、日本人の生き方在り方が変容を受けたことを、自己の生き方と関わって学ぼうとしている。	教科書・プリントによる学習への取り組み	・GW後のレポート課題	・授業に対する取り組み ・GWに対する取り組み
		⑤近代日本の模索 1 近代の受容 2 キリスト教と日本人 3 民族主義の台頭 4 近代日本の社会問題 5 日本の哲学 6 民衆からみた日本人のあり方	a:日本における西洋文化の受容と葛藤についての基本的な考え方を理解できる。 b:現代に至る西洋文化との関わりを、自己の生き方との関わりで考え、判断できる。 c:現代に至る西洋文化の受容や葛藤を、自己の生き方と関わらせて学ぼうとしている。	教科書・プリントによる学習への取り組み	・GW後のレポート課題	・授業に対する取り組み ・GWに対する取り組み
		⑥世界大戦とその後の日本 1 戦争への道 2 戦後の日本の思想	a:戦後の日本における日本人論や国際社会における役割などについての基本的な考え方を理解している。 b:国際社会に主体的に生きる日本人として、先哲の思想を手がかりに判断している。 c:国際社会に生きる日本人の主体的な生き方について学ぼうとしている。	教科書・プリントによる学習への取り組み	・GW後のレポート課題	・授業に対する取り組み ・GWに対する取り組み
ステージ3	現代社会への道程	①人間の尊厳 1 ルネサンス 2 宗教改革 3 モラリスト	a:ルネサンス期の近代的人間観や合理的思考について理解している。 b:ルネサンス期の自由意志の考え方や寛容の精神などを、自己の生き方と結びつけて考え、判断しようとしている。 c:近代的人間の基本的な考え方のもとにあるルネサンス期の思想を学ぼうとしている。	教科書・プリントによる学習への取り組み	・GW後のレポート課題	・授業に対する取り組み ・GWに対する取り組み

	現代社会への道程	②近代科学と人間 1 近代科学の成立 2 近代科学の方法	a:人間がよりよく生きるためにという観点から、科学技術の意義や問題点を理解している。 b:科学についての諸思想から科学技術についての見解を導き出し、望ましい科学について判断できる。 c:科学技術の意義や課題について主体的に考えようとしている。	教科書・プリントによる学習への取り組み	・GW後のレポート課題	・授業に対する取り組み ・GWに対する取り組み
		③民主社会と幸福 1 人権思想の形成 2 社会の発展と幸福の追求	a:人権や幸福に関する近代諸思想の内容を、社会と個人という観点から価値観の相互尊重、人格形成に生かす知識として理解している。 b:人権や幸福の追求といった近代的概念について自分の考えをまとめて公正に判断している。 c:人権や幸福追求といった近代的概念の根拠を探究しようとしている。	教科書・プリントによる学習への取り組み	・GW後のレポート課題	・授業に対する取り組み ・GWに対する取り組み
		④自己実現と社会参加 1 カントの思想 2 ヘーゲルの思想 3 社会主義の思想 4 実存主義の思想 5 実証主義とプラグマティズム	a:近代の諸思想について、自己の生き方、主体的な社会参加への示唆という視点から理解している。 b:近代の諸思想の探究する幸福や公正、正義などについて、公平な立場で考察して判断している。 c:近代の諸思想を、自己の生き方との関わりで学ぼうとしている。	教科書・プリントによる学習への取り組み	・GW後のレポート課題	・授業に対する取り組み ・GWに対する取り組み
		⑤新しい時代への扉 1 他者との間に生み出される世界 2 無意識と言語 3 人間主体を取り巻く構造と権力 4 理性の立て直しと公共性の追求 5 フェミニズム 6 民主主義と公正の両立	a:近代社会の見直しに関する諸思想を、自己や社会の望ましい姿の探求という観点で理解している。 b:近代的理性の見直しという現代の思想的課題を、自己や社会の問題としてとらえるような探究を行っている。 c:近代的理性の見直しという現代社会の課題を、自己の生き方の問題として学ぼうとしている。	教科書・プリントによる学習への取り組み	・GW後のレポート課題	・授業に対する取り組み ・GWに対する取り組み

	現代の諸課題と倫理	①生命科学と倫理	a:生命について、人間の存在や価値との関わり、生き方の問題として身につけている。 b:生命科学に関する諸課題について、いろいろな角度から考察して判断している。 c:生命についての諸科学を自己の生き方と結びつけて考えようとしている。	教科書・プリントによる学習への取り組み	・GW後のレポート課題	・授業に対する取り組み ・GWに対する取り組み
		②地球環境と倫理	a:環境について自然と人間の関わりを視点として、自己の生き方に生かす知識として身につけている。 b:環境に関する諸課題を多角的、公平に探究して判断している。 c:環境に関する諸課題の探究を、自己の生き方や社会の在り方と結びつけて考察しようとしている。	教科書・プリントによる学習への取り組み	・GW後のレポート課題	・授業に対する取り組み ・GWに対する取り組み
		③情報社会における倫理	a:情報社会について、自己や社会の課題との関わりの観点からみた知識として身につけている。 b:情報社会に関する諸課題について、多角的考察し、判断している。 c:情報社会の諸課題について、自己や社会の問題として考察しようとしている。	教科書・プリントによる学習への取り組み	・GW後のレポート課題	・授業に対する取り組み ・GWに対する取り組み
		④経済活動と倫理	a:経済活動の倫理的側面についての諸思想を、自己や社会の課題と結びつけて理解している。 b:経済活動に関する諸課題について多角的に考察し、判断している。 c:経済的な諸課題が持つ倫理的課題を、社会の在り方と結びつけて考察しようとしている。	教科書・プリントによる学習への取り組み	・GW後のレポート課題	・授業に対する取り組み ・GWに対する取り組み

		⑤家族･地域社会と倫理	a:家族のあり方や地域社会の課題など、家族について社会生活や自己の生き方との関わりで理解している。 b:家族や地域社会の諸課題を公平公正な観点から考察し、判断している。 c:家族や地域社会の諸課題を自己や自己を取り巻く社会の問題として考察しようとしている。	教科書・プリントによる学習への取り組み	･GW後のレポート課題	・授業に対する取り組み ・GWに対する取り組み
		⑥文化･宗教の多様性と国際理解	a:文化や宗教の知識を、異なる文化への理解の視点から身につけている。 b:文化や宗教をめぐる諸課題について、公平公正な観点から判断している。 c:文化や宗教を他文化の理解や交流の視点から学ぼうとしている。	教科書・プリントによる学習への取り組み	･GW後のレポート課題	・授業に対する取り組み ・GWに対する取り組み
		⑦国際平和と人類の福祉	a:国際平和や人類の福祉について、国際協力や協調の視点から、自己の生き方と結びつけて理解している。 b:国際平和や人類の福祉について、多角的な観点から表現し、判断している。 c:国際平和や国際協調について、自己や日本の関わりという視点から学ぼうとしている。	教科書・プリントによる学習への取り組み	･GW後のレポート課題	・授業に対する取り組み ・GWに対する取り組み
	出生前診断と命の選択	〔主題学習〕 ・課題の設定 ・調査方法 ・資料収集 ・成果報告	a:出生前診断に関する様々な課題を、知識として身につけている。 b:出生前診断の課題を、様々な角度から学び、自己の課題として判断しようとしている。 c:出生前診断をめぐる様々な意見に気づき、自己の問題として考えようとしている。	教科書・プリントによる学習への取り組み	･GW後のレポート課題	・授業に対する取り組み ・GWに対する取り組み

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度